

NO. 396
2022.6・7

CENTER NEWS



KG&Ec 協同組合 関西地盤環境研究センター

<https://www.ks-dositu.or.jp>

目 次

2021 年度を振り返り	寺西 一哲…………… 1
5・6 月定例理事会	…………… 2
第 42 期通常総会開催報告	森 辰義…………… 3
2022 年度若手技術者室内試験体験会開催報告	金津 正子…………… 4
若手技術者室内試験体験会に参加して①	松永 英樹…………… 5
若手技術者室内試験体験会に参加して②	増元 達郎…………… 6
委員の独り言	長谷川 友祐…………… 7
ホームページをリニューアルしました	…………… 8
編集後記	加藤 博之…………… 8

表紙写真 大募集！

センターニュースの表紙にあなたの撮った写真を載せませんか？
写真とその表紙の説明（撮影した状況やその物の説明、言いたい事など
なんでも構いません）を付けて info@ks-dositu.or.jp にお送り下さい。
採用された方にはちょっとしたお礼もございます。
皆様のご投稿をお待ちしております。

表紙説明

今年の GW に岐阜へ旅行に行きました。上から【岐阜駅の織田信長像】コロナウイルス対策
の為、マスク着用しているようです。次に【郡上八幡城】です。お城までの道のりが急こう配
の坂だったので、登るのに一苦勞でした。最後に【豊川稲荷】です。日本三大稲荷のひとつで、
想像以上に大きな神社でした。近辺に売っているいなり寿司がとても美味しかったです。

（写真・文責：西野 真海）



2021 年度を振り返り

理事長 寺西 一哲

令和4年5月30日、協同組合関西地盤環境研究センターの第42期通常総会を開催致しました。組合員の皆様にはご多用のところ、多数ご出席賜りまして誠にありがとうございました。当センター理事長の寺西一哲です、どうぞよろしくお願い申し上げます。

組合員の皆様には新型コロナの影響で通常総会が2年続けて書面決議となりましたこと、心よりお詫び申し上げます。さらに、創立40周年記念事業のメインとなる記念式典につきましては、延期から中止とせざるを得ない状況でした。皆様のご期待を裏切ることとなり、多大なる御迷惑をおかけいたしました。

さて、昨年度（令和3年度）の地盤調査業界は、国の施策による国土強靱化計画、コロナ対策における景気対策など、非常に多くの受注量がありました。これは大変喜ばしいことで本業界に携わるものとして大変感謝しております。当組合もその恩恵にあずかり、非常に業務量が増大いたしました。お陰様で売上げは3億7千万円強（過去4番目）、利益1億1千万円を記録し、売上げは過去最高には及ばないものの、利益は過去最高益を出させていただきました。ひとえに組合員皆様のご協力の賜物であると認識しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。最高益の一因として、センターの品質確保はもちろんのこと、工程管理、コスト縮減等の生産性向上が実を結んだ結果であると思っております。利益を出すだけでなく、業務を依頼して頂いた組合員へのお礼として、利用分量配当を過去最高の30%と決定いたしました。

本通常総会では種々の議案が滞りなく審議され、ご承認頂きました。また、コロナの終息が未だ見えない状況ですが、支援サービス事業もコロナ以前のように復活させ、力を入れていきたいと思っております。関西のプロジェクトとしては新名神高速道路、淀川左岸線、浪速筋線、関西万博、夢洲IR事業と目白押しでございます。今年度以降も継続的に業務量が確保できればいいのですが、将来については不透明であります。今できることを着実にやって行きたいと思っております。引き続き、組合員の皆様にはご協力とご指導、ご鞭撻のほど重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員企業、社員の皆様とご家族様、さらにセンター職員・パート、皆様の益々のご発展、ご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、センター理事長の2021年度総括とお礼とさせていただきます。ありがとうございました。

令和4年5月30日（月）12時45分より、大阪キャッスルホテル会議室にて理事10名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
4月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 4月分事業報告の件
- 3) 第42期通常総会担当確認の件
- 4) 第42期通常総会後の手続き等予定の件

【審議事項】

- 1) （一社）日本応用地質学会関西支部からの協力依頼について

令和4年6月27日（月）15時00分より、ガーデンシティクラブ大阪にて理事10名が出席して開催した。

定款の定めにより、寺西理事長が議長に就任し議事進行を行った。

【報告事項】

- 1) 一般経過報告
5月の会議・会合・行事について報告した。
- 2) 5月分事業報告の件
- 3) 第42期通常総会費用精算報告の件
- 4) 令和4年度ジオ・ラボネットワーク経営懇談会・定例会開催報告の件
- 5) 令和4年度3団体合同講演会、合同見学会開催について

【審議事項】

- 1) 組合職員夏期賞与支給検討の件
- 2) 令和4年度（第43期）臨時総会及び特別講演会開催について
- 3) 組合顧問の件

第 42 期通常総会開催報告

森 辰義

5月30日 第42期通常総会を大阪キャッスルホテルにて開催致しました。

司会者が開会を宣し、次に寺西理事長が挨拶を行いました。議長には八谷副理事長が指名され、議事は滞りなく進められ終了しました。

通常総会に引き続き、懇親会を開催致しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策も踏まえ着座式で開催致しました。大阪中小企業団体中央谷山事務局長の挨拶のあと、一般社団法人関西地質調査業協会 小宮理事長の乾杯の発声で和やかに始まりました。

途中、新規組合員に加入された、(株)池田地質様、(株)勇コンサルタンツ様の代表が挨拶を行い、高松理事の中締めで懇親会は盛会の内に終了致しました。



寺西理事長の挨拶様子



総会会場の様子



大阪府中央会谷山事務局長の挨拶



高松理事の中締め

2022年度 若手技術者室内試験体験会 開催報告

関西地盤環境研究センター

金津 正子

教育・技術小委員会では、若手技術者室内試験体験会を4月19日、21日、26日と5月17日、19日の計5回開催しました。

委員会では、過去2年の間、体験会の企画、案内の送付など活動をしてきましたが、コロナウイルス感染症拡大のため中止せざるを得ない状況でした。2022年は感染対策を行いつつ、やっと若手技術者室内試験体験会を開催することができました。

これまでの体験会は2日間の日程で開催してきましたが、今年度はコロナ禍の開催ということで、日程を1日とし、参加人数は少人数で開催するなど感染対策に重点を置いた企画、運営を行いました。

2年ぶりの開催とあって、定員20名のところ26名の申し込みを頂きました。当初は定員を超えた場合は抽選を行う予定でしたが、委員会からの要望で希望者全員の参加を受け入れました。当初は4月に2回、5月に2回の計画でしたが、急遽開催日程を1日増やし、対応しました。

体験会の内容は、見学と体験を組み合わせ、従来から行っている2日コースと遜色の無いように工夫をしました。

2020年12月に土質試験のJIS改訂が行われたこともあり、参加者の皆さんに「土質試験の基本と手引き」（地盤工学会 発行）を購入していただき、資料も新しいものに作り替えて準備しました。

参加者の全員のアンケートでは、ほぼ全員から満足の感想をいただきました。

来年度もより充実した体験会が開催できるよう、参加者のアンケート結果を踏まえて、委員会で企画・運営していきたいと思います。



若手技術者室内試験体験会に参加して①



株式会社メーサイ 松永 英樹

協同組合関西地盤環境研究センターにて行われた若手技術者室内試験体験会に参加させていただきました。私はこの業界に入り、4年目になりましたが、実際に室内土質試験を自分の手で行うのは初めての体験で、不攪乱試料の押出しに始まり、試料観察、物理試験、ランマーによる締固め試験、透水試験、供試体の成形、一軸圧縮試験、三軸圧縮試験を体験させていただきました。

今までは、文献や試験のデータシート、試験状況の写真でしか室内土質試験に触れたことがなく、正直なところイメージが湧いていませんでした。業務を行う際にも、各試験にかかる日数をなんとなく把握していて、粘性土であれば、とりあえず試験できるだろうという程度の認識でした。しかし、実際に自分の手で試料の抜き出しを行い観察し、試験を行うことで、一つの試料を試験するのに、どれほどの手間がかかり、混入物等によっては試験が出来ない可能性があるということを実感しました。

これまで、お客様と打合せをしていく中で、試験の内容や数で土質試験の結果をいただける時期について話すことがありましたが、余裕のない期間設定をしてしまい、土質試験を依頼する際に、ご迷惑をおかけしてしまっていたと反省しました。

今後は、打合せや現場での試料観察時点で、この土質だと試験が難しいかもしれない、試験結果が頂けるまで時間がかかるかもしれないなど、早い段階でお客様と相談ができるようになるかと思います。

ご多忙の中、試験体験会を開催し、貴重な体験をさせていただいて、ありがとうございました。



試料の抜き出し体験



一軸圧縮試験の見学

若手技術者室内試験体験会に参加して②



(株) 建設技術研究所 増元 達郎

2022年4月19日に関西地盤環境研究センターにて実施された若手技術者室内試験体験会に参加しました。入社2年目ではありますが、建設コンサルタントの業務に係らせて頂く中、土質試験に関することで何度かやり取りをさせていただいていた関西地盤環境研究センター様で実際に試験を体験させていただくということで、とても貴重な経験となりました。土を扱い、試験を行うというのは想像していたよりも難しく、どれだけ誤差が出るんだこれは、と自分の出来に失望しておりましたが、センター職員の方々は文字通り職人技のように見事な試料を作成しており、その様子が非常に印象に残りました。

また私自身、土質試験は学生の頃の実習で今回体験させていただいた内のいくつかを履修したことがありましたが、当時は授業として単位を取るために漫然とこなしており、現在の職に就いて、柱状図と土質定数を見てもどのような土でどのような性質の土なのか全くイメージが湧いてきませんでした。今回の若手体験会は、その土のイメージを掴むことのきっかけとなる出来事になったように思えます。実際に土を触り、器具や計測器を扱いながらプロットを完成させ、よく目にする定数を自分の手で決定していくことで、業務では数値や線でしか現れていない土に関するデータが、ようやく意味をもっているように感じました。

この経験をこれからの業務にも活かしていけるよう、土を一生懸命にこねたことを忘れないようにしたいと思います。

最後になりますが、関西地盤環境研究センターの皆様、貴重な機会を頂き、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。



試料の採取の様子



三軸について質問している様子

委員の独り言

気温が高くジメジメした日々が始まり、ついに「梅雨」の時期がやってまいりました。しかしながら今年は、気付けば1ヵ月も経たないうちに「梅雨明け」と梅雨らしい雨続きの日々が少なかったように感じます。それどころか、気温が高く真夏日や猛暑日がちらほらと、汗が止まらぬ日が多くなっています。

現場では、熱中症対策として健康チェックを始めとした、こまめな水分、塩分補給や空調服で温度調節など、色々な対策をとられているのではないのでしょうか。最近では、様々な冷却グッズが出ているので、上手く取り入れてみるのも良いと思います。

例)



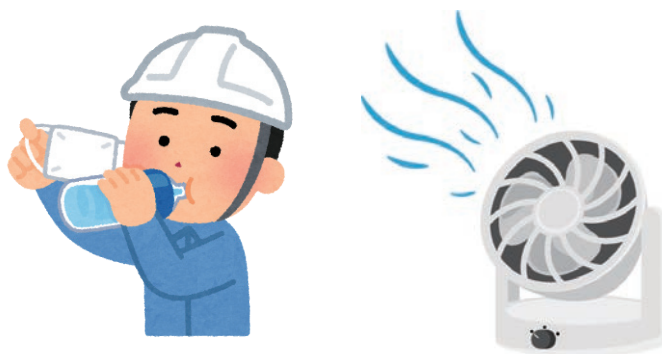
など

すでに各地で最高気温が更新されるなど、例年に比べ早い時期から暑い日が続いています。

現場作業だけでなく、室内作業でも室温を適切に保つために、扇風機やエアコンを活用して対策が必要です。室内だからと言って、水分補給をおろそかにしてはいけませんよ。

これから益々暑い日々が続くと思いますが、対策だけでなく予防もしながらしっかりと備えて暑い夏を乗り切りましょう！

(国際航業株式会社 長谷川 友祐)



ホームページをリニューアルしました



2022年4月よりセンターのホームページが新しくなりましたので、一度見に来てください。



編集後記

湿気と暑さとの戦いの日々が始まる季節となりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。あるネットを見ていて目に留まったのが、場合によってアイドリングストップはデメリットになり得ることもありますとの記事でした。

アイドリングストップ機能はご存じのとおり、停車中にエンジンを停止することで余計な燃料消費を抑えて、燃費を向上させる役割を果たしているものですが、皆さんはアイドリングストップ機能を使っておられますか、それともアイドリングストップ機能をオフにして走行しておられますか？記事によれば、停止する度にアイドリングストップが作動するため、エンジンを再始動するためにセルモーターが稼働し、バッテリーの電力が消費され、バッテリーの寿命とセルモーターの寿命が短くなるのではという事でした。確かにエンジン始動時に一番電力を使いますし、停止するたびにエンジン始動が行われ、セルモーターが回るその回数は多いものとなります。ガソリンの節約よりもバッテリー交換代やセルモーターの交換代の方が高つくなどとの意見もある様です。

燃料代と整備代との比較を考えたことはなかったのですが、私はアイドリングストップ機能をオフにして走行しています。特に夏場ですが。乗っています車は高級車ではないので、エンジンが止まるとエアコンも止まり、室内はサウナ状態になるものですから。燃費を向上させ燃料代を抑え、地球環境に配慮するアイドリングストップ機能を、メリットデメリットがありますが、上手くオン・オフのスイッチを使っていきたいなと思います。

(株)メーサイ 加藤 博之

組合員・賛助会員名簿

【組合員名簿】

(50 音順)

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アテック吉村	(072) 422-7032	株式会社 タニガキ建工	(073) 489-6200
株式会社 池田地質	(06) 6797-2280	株式会社 地域地盤環境研究所	(06) 6943-9705
株式会社 勇コンサルタンツ	(06) 6306-6907	株式会社 地圏総合コンサルタント 四国支店	(0897) 33-3123
株式会社 インテコ	(0742) 30-5655	中央開発 株式会社 関西支社	(06) 6386-3691
株式会社 エイト日本技術開発 関西支社	(06) 6397-3888	中央復建コンサルタンツ 株式会社	(06) 6160-1121
株式会社 オキコ コーポレーション	(06) 6881-1788	株式会社 東京ソイルリサーチ 関西支店	(06) 6384-5321
応用地質 株式会社 関西事務所	(06) 6885-6357	株式会社 東建ジオテック 大阪支店	(072) 265-2651
川崎地質 株式会社 西日本支社	(06) 7175-7700	東邦地水 株式会社 大阪支社	(06) 6353-7900
株式会社 関西土木技術センター	(075) 641-3015	土質コンサル 株式会社 大阪事務所	(072) 634-6373
株式会社 基礎建設コンサルタント	(088) 642-5330	株式会社 中堀ソイルコーナー	(06) 6384-9069
基礎地盤コンサルタンツ 株式会社 関西支社	(06) 4861-7000	株式会社 日さく 大阪支店	(06) 6318-0360
キタイ設計 株式会社	(0748) 46-2336	株式会社 日建設計	(06) 6203-2361
株式会社 キンキ地質センター	(075) 611-5281	株式会社 日本インシーク	(06) 6282-0310
株式会社 KGS	(072) 279-6770	日本基礎技術 株式会社 関西支店	(06) 6351-0562
株式会社 建設技術研究所 大阪本社	(06) 6206-5700	日本物理探査 株式会社 関西支店	(06) 6777-3517
興亜開発 株式会社 関西支店	(072) 250-3451	ハイテック 株式会社	(06) 6396-7571
株式会社 興陽ボーリング	(06) 6932-1590	株式会社 阪神コンサルタンツ	(0742) 36-0211
国際航業 株式会社 関西事業所	(06) 6487-1111	阪神測建 株式会社	(078) 360-8481
株式会社 国土地建	(0748) 63-0680	株式会社 ビュー設計	(088) 665-7360
サンコーコンサルタント 株式会社 大阪支店	(06) 6121-5011	復建調査設計 株式会社 大阪支社	(06) 6392-7200
有限会社 ジオ・ロジック	(072) 429-2623	双葉建設 株式会社	(0748) 86-2616
株式会社 白浜試錐	(0739) 42-4728	報国エンジニアリング 株式会社	(06) 6336-0228
株式会社 ソイルシステム	(06) 6976-7788	株式会社 メーサイ	(06) 6190-3371
株式会社 大同ソイル	(0745) 63-1850	明治コンサルタント 株式会社 大阪支店	(06) 7178-1659
株式会社 ダイヤコンサルタント 関西支社	(06) 6339-9141	株式会社 ヨコタテック	(06) 6877-2666

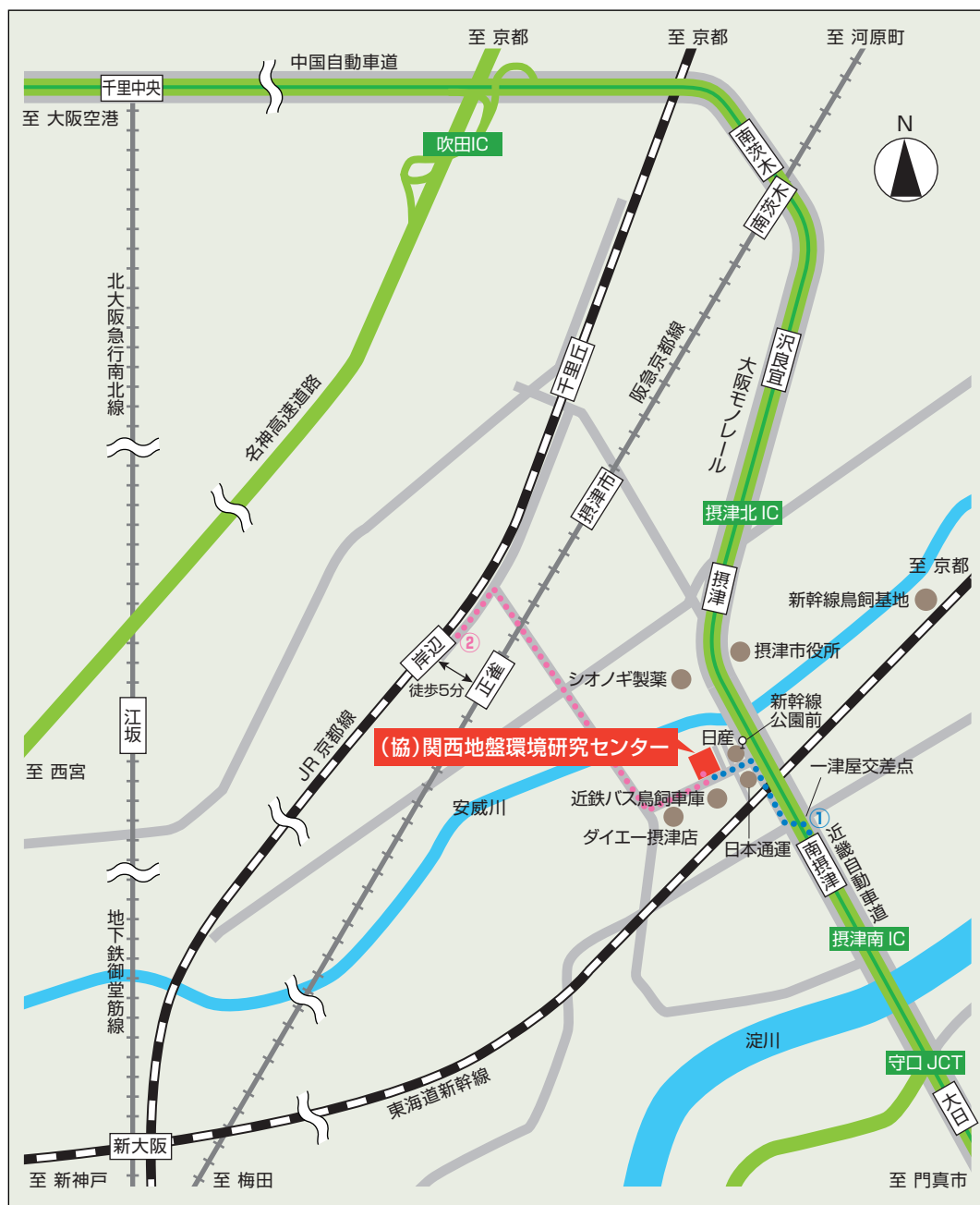
【賛助会員名簿】

会 社 名	電話番号	会 社 名	電話番号
株式会社 アサノ大成基礎エンジニアリング 関西支社	(06) 6456-1531	株式会社 総合技術コンサルタント	(075) 312-0653
株式会社 アーステック東洋	(075) 575-2233	株式会社 ソルブレイン	(06) 6981-3330
株式会社 JFDエンジニアリング	(06) 6531-3326	株式会社 兵庫コンサルタント	(0799) 28-1074
株式会社 創研技術	(088) 652-0077		

発 行 協同組合 関西地盤環境研究センター
〒566-0042 摂津市東別府1丁目3番3号
TEL 06-6827-8833 (代)
FAX 06-6829-2256
e-mail tech@ks-dositu.or.jp

編 集 広報小委員会
編集責任者 中山義久
印 刷 千里丘印刷

<https://www.ks-dositu.or.jp>



① 南摂津駅(大阪モノレール)より徒歩12分

② JR岸辺駅よりタクシーで約10分

新大阪駅より地下鉄御堂筋線に乗り千里中央駅でモノレールに接続、千里中央駅から南摂津駅まで21分

協同組合 関西地盤環境研究センター

〒566-0042 大阪府摂津市東別府1丁目3-3

TEL.06-6827-8833(代表)

FAX.06-6829-2256(地盤技術室)

<https://www.ks-dositu.or.jp>